

県内経済の動き

概況

〔9月～11月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（9月）は2カ月ぶりに前月比・前年同月比共に上昇、通関輸出額（10月 細島港）は8カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（10月 全店ベース）は11カ月連続で前年同月比減少し、「軽」を含む乗用車の販売台数（11月）は2カ月連続で前年同月比増加、新設住宅着工戸数（10月）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。公共工事（11月 保証対象請負総額）は2か月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（10月：1.46倍）は前月比0.04ポイント低下した。11月の企業倒産は、前月比2件増の3件となり、負債総額は前月比5億46百万円増の8億46百万円となった。

県内経済は、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いているが、百貨店・スーパー販売額の前年割れが続くなど、個人消費の一部に弱さがみられる。